

\\ 不動産業界向け //

RPAを利用したDX推進事例



Agenda

- 1.はじめに
- 2.不動産業界の現状と課題
- 3.RPAの基礎知識
- 4.不動産業界のRPA活用方法
- 5.RPA導入の成功事例
- 6.成功のポイント
- 7.まとめ
- 8.RoboTANGOのご紹介

はじめに

本資料を読むとわかる 3 つのこと

不動産業界における業務効率化とDX（デジタルトランスフォーメーション）の実現には、RPAの導入が有用です。
本ホワイトペーパーでは以下のポイントが分かります。

1

RPA導入で**解決できる課題、優位性**がわかる

2

RPA導入による**不動産業界の期待効果**がわかる

3

不動産業界のDX推進事例がわかる

煩雑な事務処理や定型業務の多さ

不動産業界は、多種多様な書類作成や情報処理など、煩雑な事務処理や定型業務に多くの時間を費やしています。こういった業務は単調でありながら高い正確性が求められます。

31.8%

30時間以上残業している人の割合

4位

業界別ワースト 2位
サービス残業の多さ

49.5時間
週の平均労働時間

不動産業界における事務処理の課題

- **膨大な事務作業時間**：不動産業界の営業担当者は業務時間の相当部分を事務処理に費やしており、本来の顧客対応や営業活動に集中できない状況。

契約書類の作成と処理

物件情報の管理業務

顧客データの管理・処理

経理などのバックオフィス業務

煩雑な事務処理・定型業務がもたらす影響

- 本来の営業活動や顧客対応に充てるべき時間を圧迫
- 人的ミスによる業務品質の低下と信頼性への影響
- 残業時間の増加による従業員の負担増大
- 事務処理の遅延による顧客対応スピードの低下

紙中心の業務プロセス

不動産業界は多くの法的書類を扱うため、業務プロセスが紙中心になりやすいのが現状です。紙業務が中心の業務プロセスは手入力によるヒューマンエラーや紛失、検索性の低さ、保管スペースの問題といったさまざまな課題を生み出します。



膨大な紙書類の処理

契約書、重要事項説明書、物件情報、など大量の紙書類を作成・管理する必要があり、保管スペースや整理に多大なコストが発生。



リスクと脆弱性

紛失・破損・漏洩のリスクが高く、災害時のバックアップも困難。個人情報保護の観点からもセキュリティ上の課題がある。



検索性と可用性の低さ

必要な書類を探すのに時間がかかり、過去の取引情報の活用や分析が困難。複数の担当者間での情報共有にも時間と手間がかかる。



手作業によるヒューマンエラーの発生

システムへの転記の際、記入漏れやミスなどヒューマンエラーが発生しやすく、修正や確認作業にさらなる工数が発生。



不動産業界のデジタル化状況

アットホームの調査によると、不動産業界の書類電子化率は約42%にとどまり、他業種平均（68%）を大きく下回っています。特に中小規模の不動産会社では31%と低く、業務効率化の余地が大きいことが分かります。

出典：[不動産DXに関する実態調査2025（アットホーム）](#)

人手不足・リソース不足による業務効率化の必要性

不動産業界は現在、深刻な人材不足と業務効率化の課題に直面しています。高齢化や若手人材の獲得難により、限られたスタッフで多くの業務をこなす必要性が増しています。

48%

人手不足を感じている不動産企業の割合

16.3%

不動産業界の離職率

4位

98.4%

業務効率向上のためDXが必要と考える不動産企業



深刻な人手不足

中小不動産企業の平均年齢は上昇傾向にあり、高齢化が進行。厚生労働省の調査では、不動産業の人手不足感は急速に悪化しており、3年前の26%から48%へと倍近く上昇しています。



入職率より高い離職率

2023年の不動産業界の入職率は15.0%なのに対し、離職率は16.3%と上回っています。人材の流出が流入を上回る状況が続き、業界全体の人材不足に拍車をかけています。



効率化の緊急性

不動産業界では月30時間以上の残業をしている従業員が32%にのぼり（業界別でワースト4位）、サービス残業も多い業界として知られています。限られた人員で業務をこなすための効率化が急務です。



自動化の必要性

ITANDIの調査によると、98.4%の不動産企業がDXによる業務効率化が必要だと認識しています。人材の定着率と採用率の低さを考えると、RPAやOCRなどの自動化技術による業務効率化が、限られた人材で最大の成果を上げるために必要です。

出典元：「全宅連「不動産業界は、今後の人手不足にどのように対応すべきか？」(2024年)」、[「マイナビキャリアリサーチLab「不動産業レポート（2024年5月）」](#)、[「パーソル総合研究所「希望の残業学プロジェクト」\(2018年\)」](#)



繰り返し作業・属人化した業務こそ 「RPA」が効果を発揮する

「手順が決まっている業務」「人手に頼らざるを得ない業務」こそ、
RPAによる業務自動化の対象

そもそもRPAとは何か

Robotic Process Automation

RPA＝ロボットによる業務プロセスの自動化

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは、「ロボットによるプロセスの自動化」を意味し、「人間がPC上で行う定型的かつ反復的なパソコン業務を自動化できるソフトウェアロボット」のことを指します。

自動化したい作業手順をRPAロボットに記録しておけば、人が操作するのと同じ様に自動で実行してくれる仕組みになっています。

近年、多くの企業が「DX推進」に取り組みはじめており、人的リソースの削減や業務効率・生産性向上に寄与できるRPAは特に注目を浴びています。



ロボットに毎月・毎週・毎日の「作業」をさせることで、人間はより知的でクリエイティブな「仕事」へ注力することが可能に。

RPAの市場動向

RPAは企業のDXを推進する重要技術として堅調な成長を続けています。また、日本のRPA市場は、人口減少や人手不足、業務効率化・DX推進へのニーズを背景に年10%超の成長を続け、2025年には1,183億円規模に達する見通しです。

48%

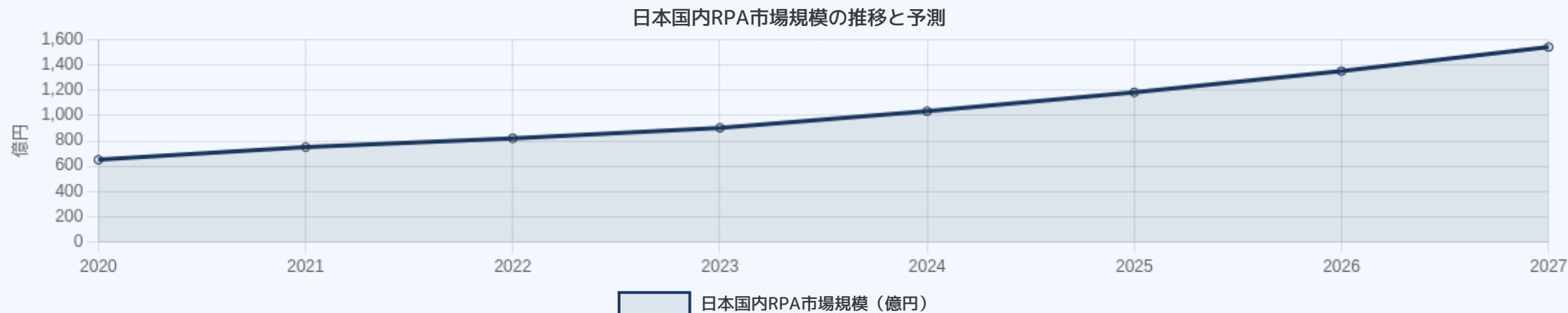
日本国内市場規模（2025年予測）

16.3%

企業導入率

10%

不動産業界でのRPA導入率（2024年調査）

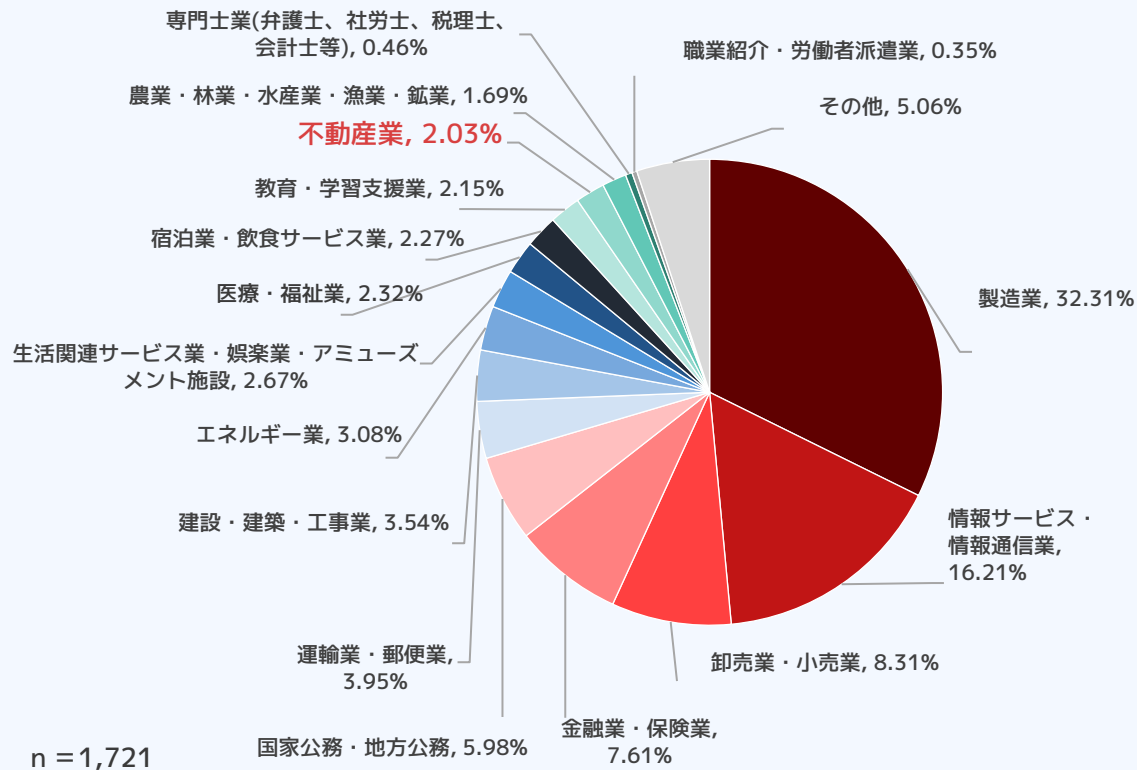


日本国内のRPA市場は、2023年の903億円から2024年に1,034億円、2025年には1,183億円、さらに2027年には1,541億円に拡大すると予測されています。企業規模別のRPA導入率は大企業が27.69%、中小企業が8.51%であり、全体平均は13.04%と企業規模による差がみられます。

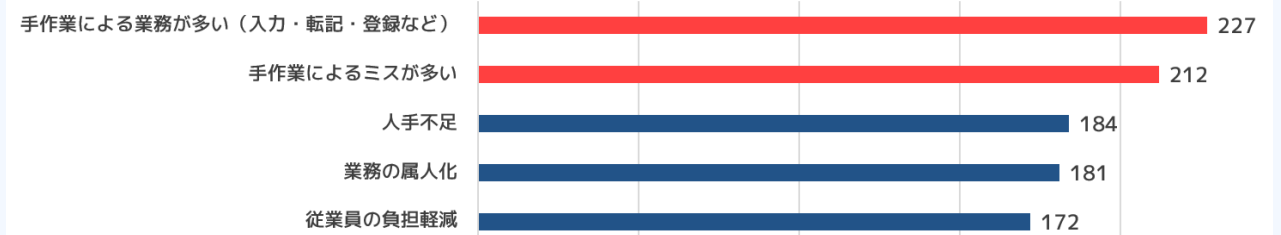
出典：[D4DR株式会社「RPA市場レポート」](#)、[スターティアレイズ「2024年度版 RPAツールの導入・活用に関する調査」](#)

RPA導入企業における、不動産業の割合は2.03%

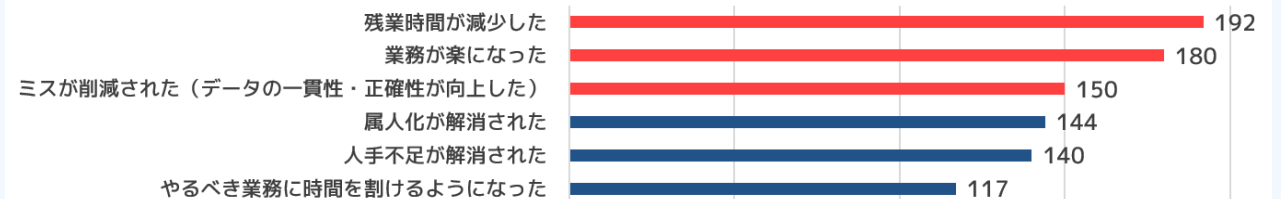
不動産業界のRPA導入率は全体の2.03%と低い水準にとどまっています。しかし、不動産業界は物件管理やバックオフィス業務において多くの定型業務があり、RPAが最も効果を発揮できる業界の一つです。RPA導入前の企業全体では「手作業の多さ」「ミスの発生」「人手不足」「属人化」といった課題が共通しており、不動産業界が日常的に抱える課題と一致しています。実際、導入済み企業では業務効率の向上・残業時間の削減・人手不足の緩和などの成果が得られています。不動産業界においても、今後さらなる導入拡大によって同様の効果が期待できます。



RPA導入前の課題



RPA導入による成果・効果



n = 507, 複数回答あり

※2024年12月自社調べ「[【2024年度版】RPAツール導入に関するアンケート 調査結果レポート](#)」

不動産業界におけるRPA活用のメリット・効果

不動産業界におけるRPA導入は、定量的・定性的にも大きなメリットがあります。

1

人＝コア業務

RPA＝定型業務



自動化による 作業工数・時間削減

繰り返しや単純な定型業務をRPAが自動化することで作業時間を大幅に削減し、従業員が本来行うべき顧客対応や営業活動に専念できるようになります。

2

確認や修正が不要に

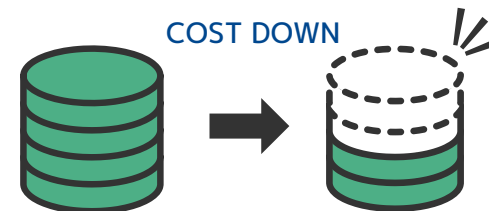


人的ミスの防止や 従業員の精神的負担の削減

システムへのデータ登録をRPAに任せることで、人的ミスを防止。従業員はWチェックや確認などの作業がなくなり、精神的負担から解放されコア業務に取り組めます。

3

COST DOWN



残業時間などの 人的コストの削減

業務の自動化により、残業コストや人員コストが削減できます。限られた人員でより多くの業務をこなせるため、人手不足や採用コストの課題を解決できます。

定性的効果

顧客満足度向上、コア業務への集中、業務処理スピードの向上、業務プロセスの標準化、属人化の防止

不動産業界とRPAの相性が良い理由

01

ルーティン業務が多い

家賃入金確認や契約更新通知といった、毎日・毎月発生する定型的な作業をRPAに任せることで、従業員を単純作業から解放します。人はより付加価値の高い、顧客対応や営業活動といったコア業務に集中できるようになります。

02

システム間のデータ転記・
確認作業が多い

物件管理、ポータルサイト、顧客管理、台帳作成、基幹システムなど、システムが乱立しがちな不動産業界。RPAがシステム間の「ハブ」となり、データの自動連携を実現します。これまで人の手で行っていた面倒な転記・確認作業がなくなり、業務効率が大幅に向上します。

03

正確さとスピードが
求められる

わずかなミスが大きなトラブルに繋がりがねない契約書や書類作成、口座振替の登録業務。RPAは、定められたルール通りに処理を実行するため、人為的なミスを削減します。これにより、業務品質の向上と顧客からの信頼獲得に直結します。



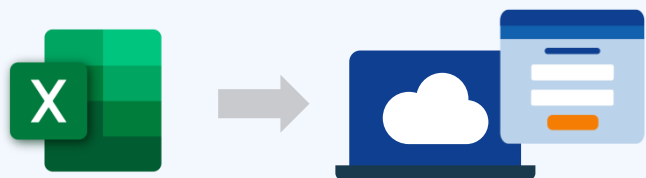
明確なルールに基づく業務が多い不動産業界は、RPAと相性が良い

RPAができること

組み合わせでパソコン業務を自動化できます

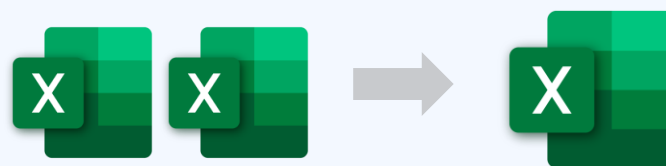
1.データ入力・転記

システムへの入力・転記やデータベースの更新など、繰り返し発生するデータ関連の作業を自動化。



2.データ集計・加工

Excel内のデータを集計したり、複数のファイルを一つに取りまとめたり、加工・編集を行う。



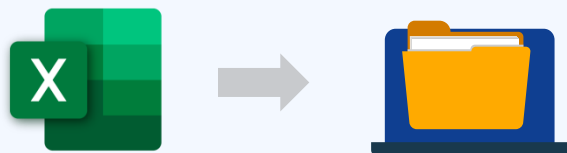
3.データ抽出・インポート

文書やシステムからデータやCSVを抽出し、必要な形式に変換したりインポートしたりすることができる。



4.ファイル操作

特定のデータをファイルに保存、またはファイルの作成、変更、削除などファイル関連の操作を自動化。



5.メール・チャットへの送信・通知

自動化の開始・終了を通知したり、作成したファイルをメールに添付し特定の宛先に送付したりできる。



6.ウェブスクレイピング

ウェブサイト上の情報を抽出して処理をおこなうことが可能。



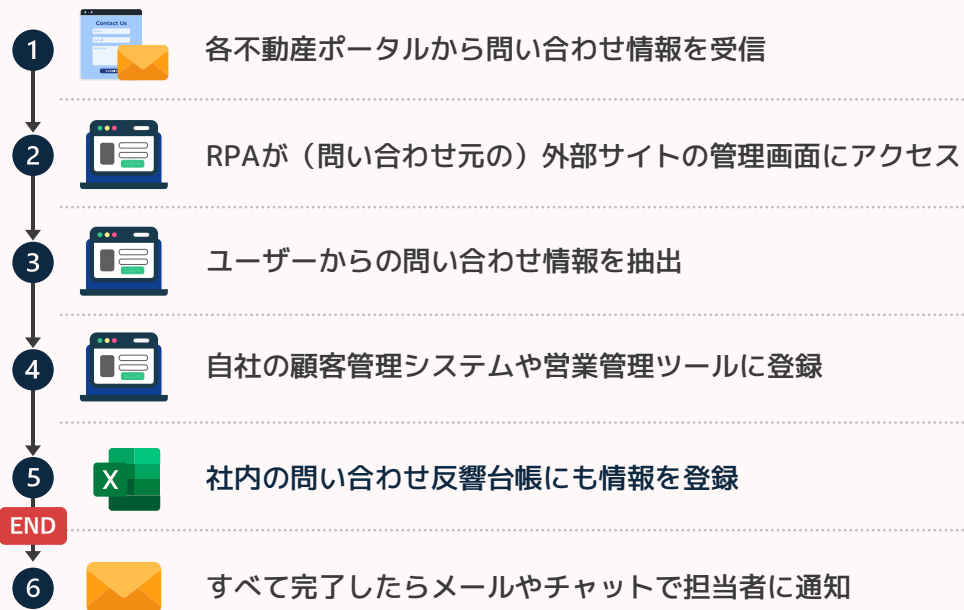
RPAを活用することで

不動産業の賃貸・売買・管理業務から、経理や総務・人事などの
バックオフィス業務まで幅広く自動化することができます

不動産の外部サイトからの問い合わせ情報を自動登録

不動産業務において、複数の不動産ポータルや自社ホームページから寄せられる問い合わせ・資料請求情報の情報登録・管理は重要ですが、それぞれの媒体から取得した情報を手作業で社内システムに登録するのは時間と労力がかかり、入力ミスの原因にもつながります。RPAを活用することで、各サイトからの問い合わせ情報を自社システムへ転記・通知する一連の作業を自動化できます。入力工数やヒューマンエラーの削減はもちろん、迅速な顧客対応も可能になります。

RoboTANGOにて自動実行



導入前の課題

- 各ポータルサイトからの問い合わせ内容を人が目視し、転記していた
- 入力ミスや登録漏れが発生し、対応の遅れにつながることがあった
- 担当者への通知も手作業で行っており、業務負担が大きかった

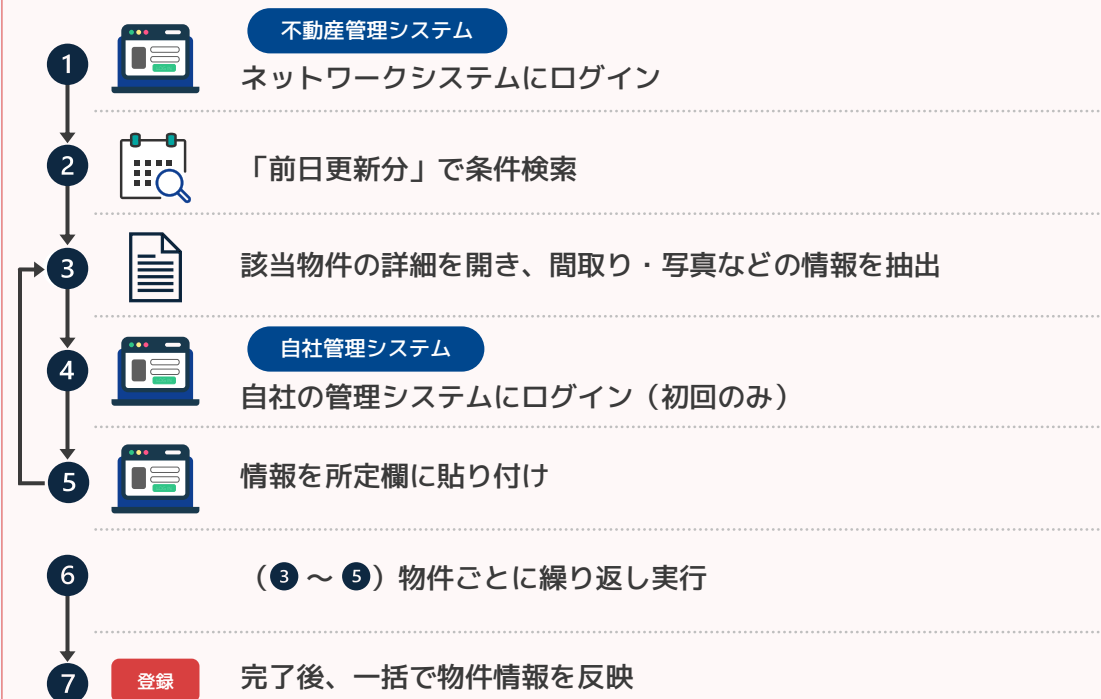
導入後の成果・効果

- 問い合わせ内容を自動で取得し、情報を整形して自社システムに登録
- 担当者へリアルタイムで通知し、即時対応が可能に
- 入力ミス・転記漏れを削減し、業務の効率化と精度向上を実現

売買物件情報の更新作業を自動化

全国の不動産物件情報を管理するネットワークシステムで更新された売買物件については、必要に応じて自社の管理システムにも情報を反映させる必要があります。その場合、間取りや設備、物件概要などの情報を物件ごとに1件ずつ登録する必要があり、手作業では手間も工数もかかります。RPAを活用することで、物件の登録・更新作業を自動化することが可能です。人の手を介さずに処理できることで、作業スピードの大幅な向上と人的ミスの防止が実現できます。

RoboTANGOにて自動実行



導入前の課題

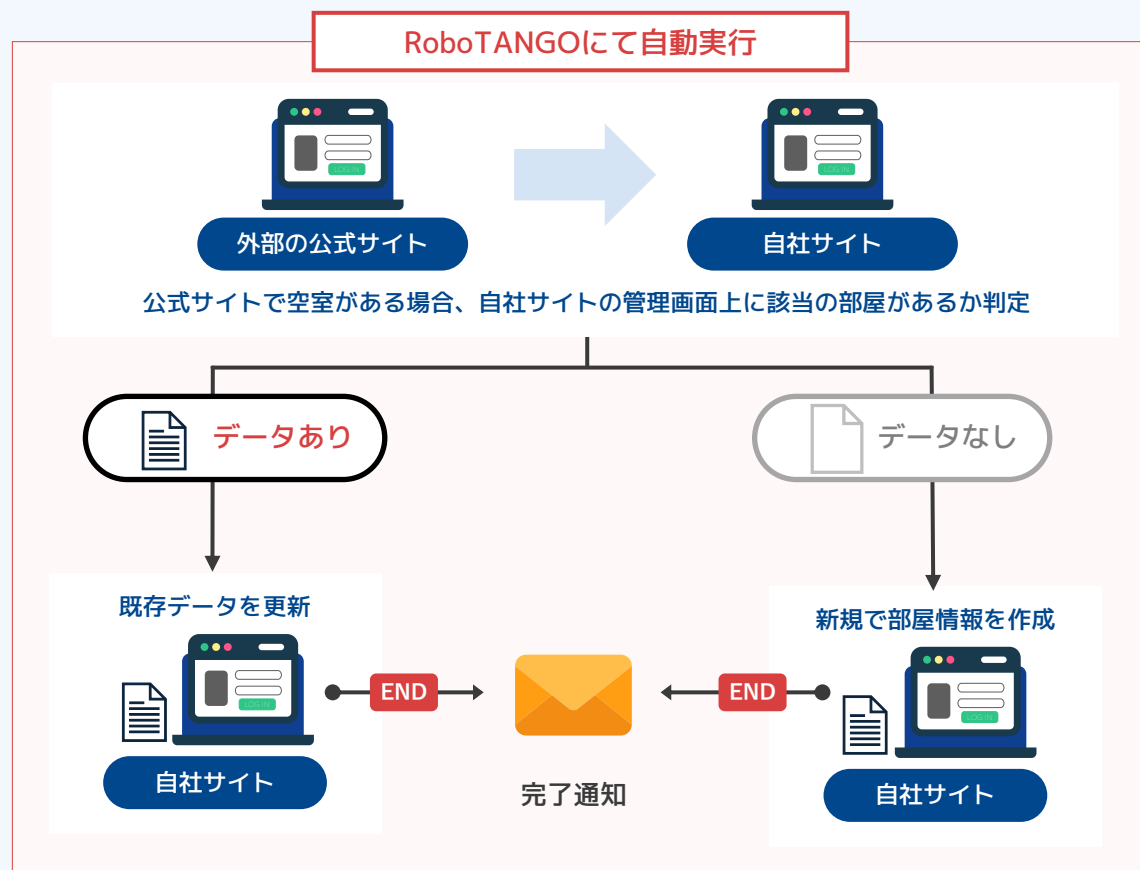
- 毎日15～20件の物件情報を手作業で更新しており、更新業務が属人化
- 情報の収集・転記に1時間かかり、スタッフが他業務と並行対応していた
- 土日を含めて毎日発生するため、継続的な作業負荷が大きかった

導入後の成果・効果

- 処理時間が約1時間→10～20分に短縮され、作業スピードが約半分に
- 人による作業工数はゼロになり、本来やるべきコア業務へのリソース転換が可能に

賃貸物件の空室情報を毎日自動で更新

賃貸物件の管理業務では、外部の公式サイトに掲載された物件情報を自社ホームページに反映する作業が日々発生します。特に団地のような大型物件では、建物ごとに複数の部屋情報があり、空室が出るたびに情報を確認・登録する必要があるため、手作業では非常に工数がかかります。RPAを活用すれば、空室情報の取得から自社サイトへの登録までを自動化でき、夜間の稼働も可能です。これにより、作業時間ゼロでの大量処理が実現し、更新件数の拡大と人的ミスの削減を同時に達成できます。



導入前の課題

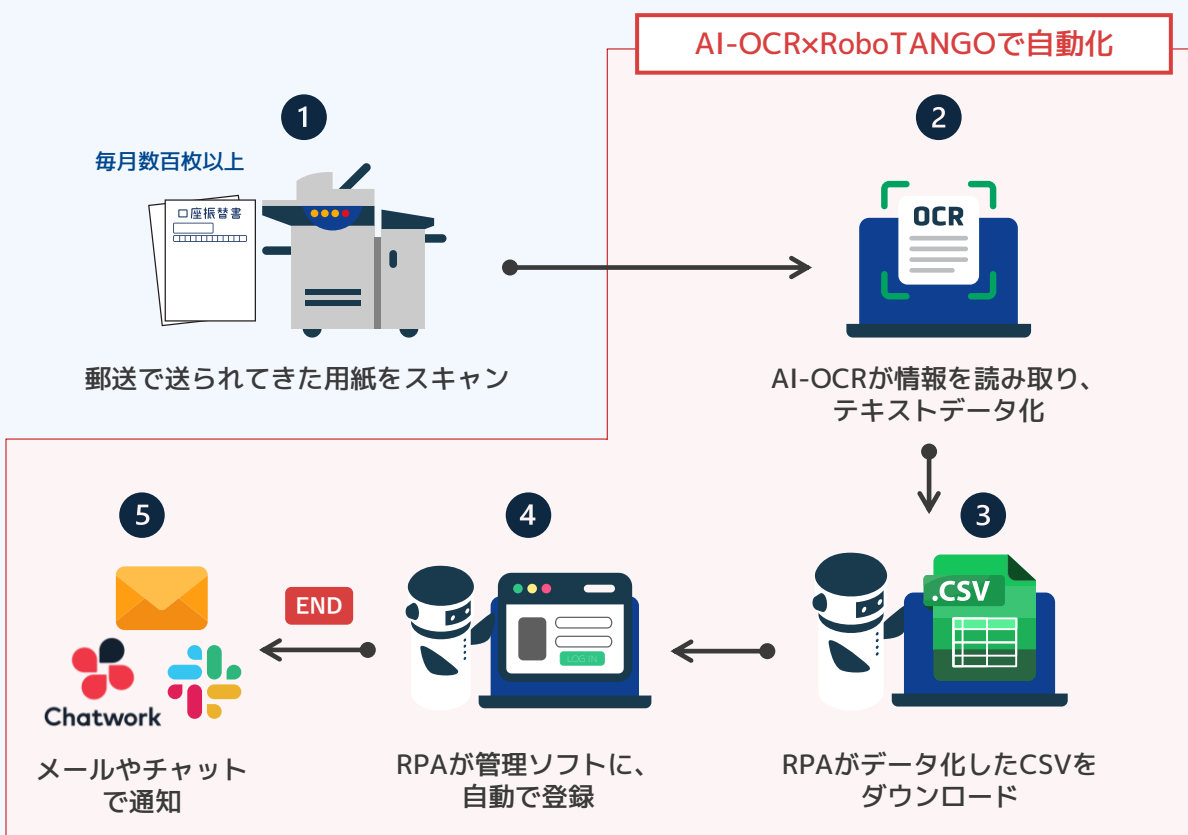
- 人気物件の更新作業に、1日あたり4時間の人手が必要だった
- 空室情報や設備情報の確認・転記作業にミスのリスクがあった
- 手作業では更新可能な部屋数に限界があり、負担も大きかった

導入後の成果・効果

- 毎日夜間にRPAを稼働し、1週間で10,000件以上の部屋情報を自動更新
- 人手ゼロで対応可能となり、手作業・人的ミスのリスクを解消
- 物件の更新対象を大幅に拡大でき、機会損失の削減に貢献

口座振替用紙の情報を自動でシステム登録

口座振替情報の用紙が届くと、毎月数百件から、規模によっては数千件をマンション管理用ソフトへ手作業で入力する必要があります。手作業では工数がかかるだけでなく、入力ミスや漏れが発生し、それに伴う確認や修正作業も必要となります。AI-OCRとRPAを活用することで、紙文書からのデータ化と管理用ソフトへの登録作業までを一元的に自動処理することが可能となります。これにより目視での入力作業、修正、二重チェックを大幅に削減し、従業員の精神的負担も軽減できます。



導入前の課題

- 口座振替の用紙を目視しながら手作業でマンション管理の専用ソフトに登録しており、手間がかかっていた
- 毎月数百件～800件分の登録作業が発生し、1日あたり30分以上の時間がかかっており、年々負担も増加していた

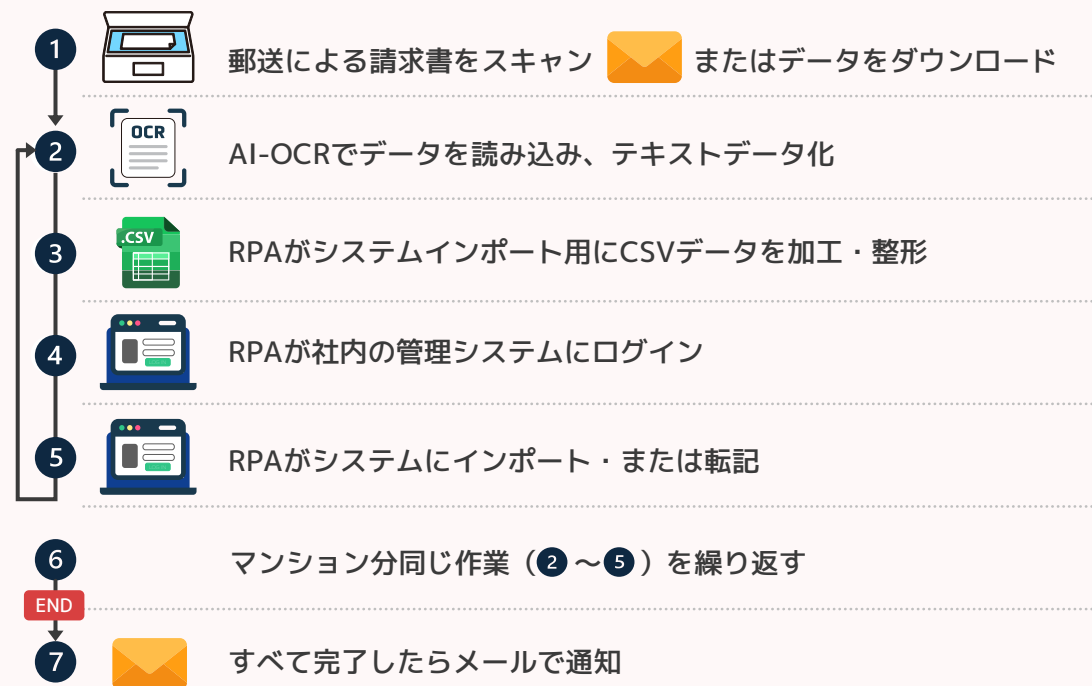
導入後の成果・効果

- AI-OCRが口座振替の用紙を読み取り、自動でテキストデータ化
- さらに読み取った情報をもとにRPAがシステム登録まで一連の業務を自動化したことで、手作業が不要となり、作業時間が大幅削減

マンションごとの銀行口座の入出金データ登録を自動化

マンション管理業務では、電話代や水道代など各マンションの管理費用に関する紙の請求書が毎月届きます。これらの請求書をAI-OCRでスキャンしてデータ化し、RPAを使って管理用ソフトへの登録作業まで自動化できます。自動化によって短時間で処理を完了できるだけでなく、「お金」を扱う重要な業務のミスを削減し、従業員の精神的な負担も軽減できます。

AI-OCR×RoboTANGOにて自動化



導入前の課題

- 入出金データの登録に毎月数営業日を要していた
- 金額を扱う業務のためミスが許されず、社員が対応していた
- 手作業により属人化・業務負担が発生していた

導入後の成果・効果

- AI-OCRとRPAで一連の作業を自動化し、処理時間と人的ミスを大幅削減
- 自動化により担当者を限定せず対応でき、属人化を解消
- 社員の作業負担が軽減し、月末処理も自動化で対応可能に

駐輪場の申込・解約処理を自動化

自転車やバイクの駐輪場に関する申込・解約業務では、これまでは管理人が紙に記入しFAXで送信していたため、管理人による記載ミスや漏れ、それに伴う確認の手間が発生していました。RPA導入により、申込から請求処理までの一連の流れをデジタル化・自動化し、ヒューマンエラーの削減と業務効率化を実現しました。

RoboTANGOにて自動実行



導入前の課題

- 管理人が紙で受付 → FAX送信のアナログ対応
- 手書きミス・記入漏れが多く、社内確認・修正の手間が発生
- 管理システムへの登録も手作業で時間がかかっていた

導入後の成果・効果

- QRコード経由でのWeb申込に変更し、受付業務を効率化
- 申込内容と使用状況を照合後、RPAで登録・請求までを自動化
- 約100物件での運用を開始、入力ミス削減と作業時間の大幅短縮を実現

その他：不動産業界の自動化マップ

その他、不動産業界において自動化できる業務は多岐にわたります。営業のフロントオフィスから経理・人事などのバックオフィス業務まで、日々の定型的な作業を自動化することが可能です。「自社のこの業務にも使えるかな？」といったご相談があれば、ぜひお気軽にお声がけください。

物件管理業務

- 物件情報の登録・更新業務
- 家賃の入金確認・督促処理
- 契約更新通知の管理・自動送付
- 空室情報のリアルタイム更新
- 入居者情報のシステム登録・更新
- 定期点検スケジュール管理・通知
- 管理費・修繕積立金等の請求処理
- オーナー向け収支報告書の作成
- 退去後の原状回復・清掃手配の通知・記録作成

経理・総務・人事業務

- 口座振替情報の登録
- 入出金データ処理
- 紙書類のデータ入力・転記作業
- 駐輪・駐車場の申込処理
- 経費精算処理
- 請求書作成・請求処理
- 入退社手続き
- 勤怠データの集計・チェック
- 月次レポート／決算レポート作成
- 求人情報の掲載・応募者管理

営業・営業支援

- 入居申込書のデータ入力
- 問い合わせの自動振り分け・対応履歴管理
- 反響メールからの一次対応
- 顧客情報のCRM登録・更新
- 追客・フォローメール送信
- 競合物件の価格調査・収集
- 契約書・重要事項説明書作成
- 広告レポート作成・配信
- 保険会社向けに火災・地震保険などの見積り依頼作成

株式会社R-JAPAN様

RPA導入で不動産業の物件情報や物件調査の更新作業を自動化し、 月間400時間以上の作業工数削減に成功

不動産の売買・仲介・賃貸・管理3つすべてを手掛ける株式会社R-JAPAN（以下同社）。同社では、毎日作業する必要がある更新作業が多く、すべて手作業で行っており担当者の大きな負担となっていました。さらに各部署で一人ひとりの業務量が多く手が回っていないことや、人手不足になっていたということもあり自動化できるツールを探していたところ、RoboTANGOに出会い導入に至りました。結果、物件情報の登録数が導入前の15倍以上増加し、月間400時間以上の作業工数削減にも成功しました。これによって、生産性の高い業務へ集中するための時間創出を実現しています。

BEFORE

- 複数の部署で更新作業や単調作業が多く、リソースが圧迫されていた
- 各部署で手が回っていない、人手不足などの課題があり解決策を探していた

AFTER

- RPAロボットを営業時間外に稼働させることで、出社時点で単調な業務が終わっている状況が実現した
- 今までアルバイトが行っていた業務が自動化され、これまで手が回っていなかった業務にリソースを充てられるようになり、人手不足解消につながった

RPAで大幅な効率化を実現（Before:After）

1. 売買部門の物件登録作業が月間30時間以上：手作業がゼロに。さらに作業時間も1/3以上削減
2. 管理部門の物件更新作業が月間約15時間：手作業がゼロに。さらに作業時間の短縮も実現
3. 賃貸部門の物件登録を1週間で約600部屋手作業で更新：RPAにより10,000件以上の部屋情報を更新
4. 反響情報のExcel入力・顧客管理：自動化したことで入力ミスや漏れなどのヒューマンエラーを削減
5. 物件の広告掲載可否・先方の状態を物件管理サイトに更新する作業を自動化

RPA導入による成果物

1. 不動産売買・賃貸・管理部門の物件登録・更新業務を自動化し、月間400時間の作業工数削減を実現
2. データ入力や更新作業を自動化することで、ヒューマンエラーが解消され、常に正確な情報を提供可能に
3. 業務処理がスピードアップし、リアルタイムでの情報更新・共有が可能に
4. 従業員の作業負担・精神的負担を軽減し、顧客対応などの本来注力すべきコア業務への集中を実現

株式会社エステム管理サービス様

RPAとAI-OCR導入により銀行口座の入力作業や請求書データの登録作業を自動化さらに業務フローのデジタル化も実現し、ヒューマンエラーの減少に成功

マンションの清掃管理、建物設備管理などマンションの総合管理業務を行っている株式会社エステム管理サービス（以下同社）。同社では、顧客に関わる重要業務のミス防止や経理業務、マンション管理周りで日々発生する定型業務の多さから、担当者の負担軽減を目的としてRPAの導入を検討しました。「費用感」「初心者でも簡単に操作できる」「複数人で使える」などからRoboTANGOとAI-OCRのDX Suiteを選択。定型業務の自動化により担当者の負担を軽減し、業務効率化を実現されました。今後は口ボを作成できる人材を増やし、グループ会社での活用も視野に入れているとのこと。

BEFORE

- 経理やマンション管理周りの定型業務が多く、担当者の負担が大きかった
- 毎月発生する印刷作業に1〜2営業日かかっていた
- 契約や金銭が絡む業務において、手作業はミスが起るリスクも高く、軽減策の実施が急務だった

AFTER

- 手作業を自動化したことで作業量が大幅に削減
- 定型業務の自動化で、重要業務のミス防止、担当者の負担軽減が実現
- 月末の多忙な時期でも余裕が生まれ、他の業務に集中できるようになった

AI-OCR×RPAで大幅な効率化を実現（Before:After）

1. 月数百〜800枚の紙の口座振替情報を毎日目視で手入力していた：人手がほぼゼロになり10時間以上削減
2. 紙申込によるヒューマンエラーが頻発：RPA導入で業務全体をデジタル化
3. 「お金」を扱う紙の請求処理を社員が対応し、属引化していた：AI-OCR×RPAで誰でも対応できる業務に
4. ネットバンクからのデータ取得と印刷に毎週1〜2日かかっていた：データ取得〜印刷まで自動化したことで人手がゼロになり、従業員はコア業務に集中できるようになった

RPAとAI-OCR導入による成果物

1. 日々の定型業務の多くが手作業だったが、RPAとAI-OCR導入により作業時間を大幅に削減し、業務効率化を実現
2. 従業員の残業時間削減に成功
3. AI-OCRとRPAの活用により、正確かつ迅速な入力が可能に
4. 多忙な時期もコア業務に集中できるようになり、リソースの最適化を実現
5. 自動化により誰でも対応可能なフローに整備され、安定運用が可能に

RPA導入における成功のポイントは？

RPAは導入すればすぐに効果が出るわけではなく、現場に合った運用の仕方が重要です。
スモールスタートから始めて現場に根づかせるための「成功のポイント」を3つに絞ってご紹介します。



全てをRPAで自動化 しようしない

業務全体の1～10のうち、はじめから全てを自動化しようとするのではなく、まずは3～8だけを自動化する、あるいは1～5だけを対象にするなど、一部から始める“スモールスタート”が成功の鍵です。小さな成功を積み重ねることで、段階的に自動化の範囲を広げていきます。



導入は現場主導で進め、 運用と保守も見据える

自動化する業務を決める際には、RPAロボットを作成する人だけでなく、実際にその業務を行う現場担当者と一緒に進めることが重要です。現場と認識をそろえることで、導入後の修正やメンテナンスもスムーズになり、無理なく現場に定着します。



業務を“作業”ではなく、 “一連の操作”として分解する

たとえば「レポートを作成する」という作業も、「ファイルを開く」「ID/PASSを入力する」「ボタンをクリックする」など、一つひとつの“操作”に分けて考えると、自動化の設計がしやすくなります。RPAでは、“人がやっている手順通りにパソコンを動かす”ことが基本です。

よくある失敗例は？

PAはうまく活用できれば大きな効果を生みますが、導入の仕方を誤ると、定着せずに終わってしまうケースも少なくありません。実際によくある失敗パターンを3つに整理し、避けるべき落とし穴をご紹介します。

よくある失敗 1

ロボを作成できる人が
限られてしまっている

- プログラミングができる人にロボ作成を丸投げしてしまった
- 業務を十分に把握していない担当者が作ったため、ロボ作成時やメンテナンス時に対応できず業務がとまる
- 「とにかく早く導入する」ことが目的化してしまい、継続性のある体制が作れなかった

よくある失敗 2

RPAが社内で横展開できない

- 一部の部署でひっそり導入し共有もしていなかったため、他部門に展開できずに終わってしまった
- ロボ化させたい業務を募集した際、選定基準が不明確だったため、自動化が難しい業務ばかりが集まった
- 属人化を避けるためにも、複数人の体制で導入・運用する仕組みが必要だった

よくある失敗 3

費用対効果が測れない

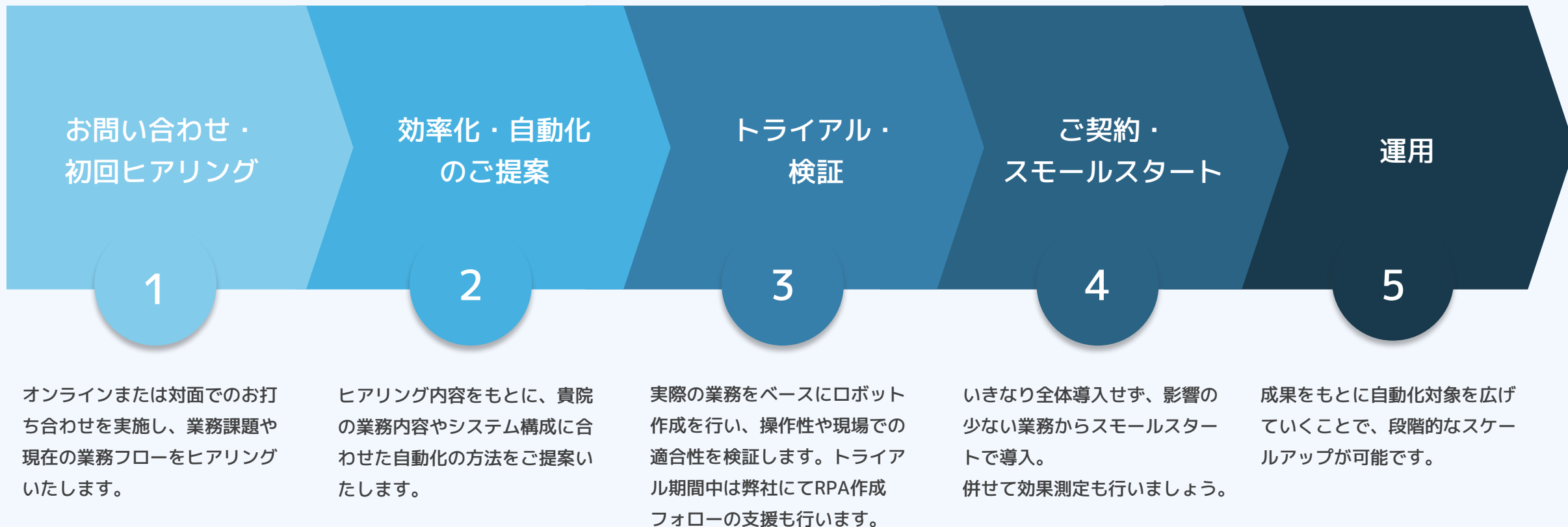
- 自動化する前後の工数やコストを記録していなかったため、効果が測れなかった
- 自動化に適した業務を見極められず、成果が出ないまま終了してしまった
- 利用状況や削減時間を管理・可視化する仕組みを事前に整えておくべきだった

RPAツール選定のチェックポイントは？

No.	チェックポイント	注意事項
1	OSやブラウザは対応しているか？	利用しているパソコンのOS・ブラウザと互換性があるか確認しましょう
2	不動産業界特有のシステムと連携できるか？	物件管理システムや顧客管理システムなど、不動産業界特有のシステムとの連携可否を確認しましょう
3	既存のExcelやCSVデータを活用できるか？	ExcelやCSVを使った業務が多いため、既存データをそのまま活用できるか確認しましょう
4	大量の情報の転記やコピーを迅速に処理できるか？	物件情報を自社サイトなどへ迅速かつ正確に反映できる処理性能を確認しましょう
5	紙文書の入力業務をAI-OCRと連携できるか？	不動産業界は契約書や口座振替依頼書など紙媒体からのデータ入力が多いため、今後のさらなる業務自動化のためにもAI-OCRとの連携性を確認するのがおすすめです
6	現場主導で使いこなせるか？	RPAは現場の定着が重要です。現場の担当者が使いやすいものを選びましょう
7	サポートは充実しているか？	最も重視するポイントです。導入後のフォローやサポート体制を確認しましょう
8	国産のツールか？	海外製品の場合、マニュアルやサポートが英語になることがあります
9	複数人で利用できるツールか？	組織で横展開する際に追加ライセンスが必要になる場合があります
10	価格は妥当か？	自動化予定の業務と削減予定時間を計算し、費用対効果を判断しましょう

導入の流れ：トライアルを利用し、運用できそうか担当者が使えそうか必ず検証しましょう

RPAを導入・運用するまでの一般的なステップは主に5つです。RPAを比較検討される際は下記のフローに沿って進めることをお勧めします。



導入前も導入後も手厚いサポートで、安心

不動産業界における業務効率化・自動化で得られる成果・ベネフィット

- 01 業務効率化による生産性向上
- 02 ヒューマンエラー削減による業務品質・正確性向上
- 03 残業時間や人件費・採用コストの削減
- 04 大量の物件情報の迅速かつ正確な更新・管理
- 05 創出した時間を顧客対応や営業活動など付加価値の高い業務に活用
- 06 顧客サービスの質や満足度の向上

まずは簡単な業務で自動化を試してみてください

まずは触ってみるコトが大事！ トライアルで業務を自動化してみよう

- ・ 慣れれば簡単！「難しそう」という意識をまず払しょくし、まず触ってみよう
- ・ どれだけ作業時間が削減できそうか確認しよう（＝費用対効果を確認する）

株式会社エステム管理サービス様からのメッセージ

同じ成果を上げるのであれば、できるだけ手間をかけずに効率的に進めたいですね。同じ成果をできるだけ効率的に上げたい方にはぜひ、RPAの利用をお薦めします。最初は「RPAの活用は難しい」といったイメージもあるかもしれませんが、実際に使ってみると思ったほど難しくはありません。慣れれば自分でRPAロボットを作れますし、サポート体制がしっかりしているため、操作面で分からない場合もすぐに教えてもらえます。

サインポスト株式会社様からのメッセージ

経営者の皆様は人手不足に頭を悩ませているケースが多いと思いますが、まずはRPAを活用して業務を効率化し、従業員の方々がより価値を生む仕事にシフトできる環境を整えるのが重要だと感じています。その第一歩として、RPAで空き時間を作るところから始めるのが良いのではないのでしょうか。人手不足の解決策としても、RPAは非常に有効だと感じています。

日本旅行様からのメッセージ

今までやりたいと思っていても、忙しくてできずに諦めていた業務がたくさんあったと思います。手作業で行う業務はすごい達成感があって、やりきったという気持ちになりますが、そういった意識を変えて、RPAに代わりにやってもらおうという風に切り替えることで、時間を有効活用できるようになり、自分たちが本当にやりたいと思っていた仕事に取り組めるようになります。

平郁会様からのメッセージ

IT知識がない方でも、セミナーなどもあわせて受講すれば、RoboTANGOならすぐに使いこなせると思いますので、積極的に導入検討されることをおすすめします。また、もし手書きの書類からの転記作業などがあればAI-OCRとの連携も上手くいくと思いますので検討してみるのも良いと思います。

RPAに「作業」を任せることで、人は本来の業務に集中できる

RPAは担当者の「信頼できるパートナー」

RPAは単なる効率化ツールではなく、担当者の“作業負担”を引き受け、業務に集中できる環境をつくる頼れる存在です。

組織としても、RPAを「パートナー」として位置づけ、共に働く仲間のように活用していくことで、生産性向上・ミス削減・リソース不足の解消・従業員満足度向上など、業務全体にポジティブな循環を生み出すことができます。

生産性向上

ミスの削減

リソース不足解消

従業員の満足度向上



まとめ

不動産DXに関するお悩みを解決します

スターティアレイズでは、不動産業界DXを推進するRPA/iPaaS/AI-OCR/BPSなど、
お客様の課題に応じた業務効率化ソリューションを提供しております。

導入に関するご相談・ご質問がある方はRoboTANGOサイトまたはお電話にてお気軽にお問い合わせください。



3週間無料トライアル&操作レクチャー実施中！
ぜひお試しください

[RoboTANGOサイトを詳しく見る](#)

フリーダイヤル：0120-277-031

営業受付時間 9:00～18:00（土日・祝祭日除く）

RoboTANGOとは

RoboTANGO は、誰でも簡単に 作成・運用できる国産RPAツール

ロボタンゴは実務担当者にやさしいデスクトップ型RPA。
録画機能付きではじめてでも使いやすく、1つのライセンスを複数
PCにインストールして共有して利用するため、スモールスター
トが可能です。

フローティングライセンス

録画で簡単作成

オンプレミス

最短利用期間1ヵ月

初心者から使える

無料トライアル

複数ユーザーで使える！

無料
トライアル
受付中

3週間お試し無料



中小企業への
RPA
導入実績
800
社以上
※1

継続率
99.3%
※2

※1) 2025年3月末時点の導入実績

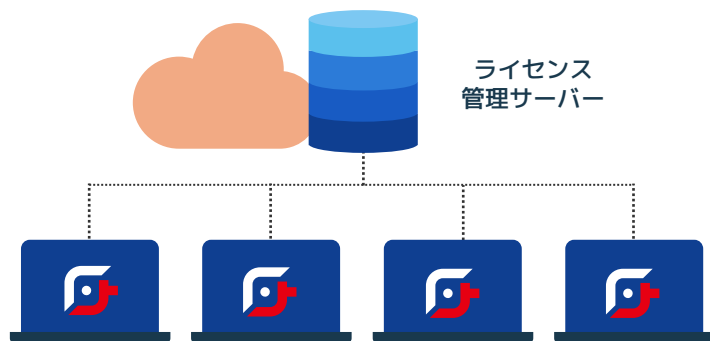
※2) サービスの最低利用期間での解約率0.7% (2022年9月末時点)



RoboTANGOの特長

FEATURE 01

フローティングライセンス 標準提供



- 1つのライセンスを、複数のPC端末でご利用可能です
- 最短利用期間1ヵ月からの利用が可能です
- ロボ作成や運用に関わるコストダウンを実現

FEATURE 02

録画機能で 簡単記録



- 画面上の操作をそのまま録画することができる録画機能を活用して、短時間でスムーズにロボを作成することができます
- プログラミングの知識や技術は不要です

FEATURE 03

充実したサポート体制



- ライセンス費用にお客様専用のヘルプデスクサイト提供（FAQ・お問い合わせ受付）を含みます
- 有償サポート「リモレク」「導入支援サービス」では、お客様の習熟度に応じた定着支援を実施

RoboTANGO ご利用料金について

基本プラン

初期費用

10万円

月額費用

6.5万円

お客様専用サポートサイト（ヘルプデスク）

受付時間：平日 **9時～17時**（土日祝日除く）

- 表示価格は全て税抜価格となっております
- お支払い方法：WEB請求書発行 口座引落（月末締め翌々5日引落）or 銀行振込
- ご契約は1ヶ月単位、以降1ヶ月自動更新となります
- 月の途中で契約が開始又は終了した場合においても、月額で課金される費用は日割計算によらないものとし満額課金とします
- ライセンスはお申し込み後、5営業日以降に発行させていただきます
- 2025年6月1日利用分から、月額65,000円に価格改定。

お問い合わせ先

RPAや業務自動化、効率化に関するお問い合わせはこちらから

お電話でのお問い合わせ先

 **0120-277-031**

営業受付時間 9:00～18:00（土日・祝祭日除く）

お問い合わせフォーム



[お問い合わせフォーム](#)

メールでのお問い合わせ先



Mail:info@reiworq.com

会社概要

商号	スターティアレイズ株式会社	I S M S 認 証
	スターティアホールディングスグループ 東京証券取引所 プライム市場（証券コード：3393）	
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス19階	P M S 認 証
設立	2017年11月10日（営業開始日：2018年4月2日）	
代表者	代表取締役社長 鈴木 健太	
資本金	9,000万円	
代表電話番号	03-6316-1488	
事業内容	バックオフィスDX支援事業	

スターティアグループは
ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の
国際規格「ISO/IEC27001」並びに国内規格
「JIS Q 27001」の要求事項に適合していることを証されて
います。



スターティアグループは
PMS（個人情報保護マネジメントシステム）の
国内規格「JIS Q 15001」の要求事項に適合していることを
証されています。



グループ概要



商号	スターティアホールディングス株式会社
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス19階
設立	1996年2月21日
代表者	本郷 秀之
資本金	824,315千円
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：3393）



会社概要



働き方の選択肢を増やす

事業領域

労働力不足という社会課題に対して
仕事の効率を上げる、
「簡単、便利、安心」なサービスを提供。

本資料の掲載内容（画像、文章等）について

本資料の掲載内容（画像、文章等）の一部及び全てについて、
スターティアレイズ株式会社への事前の許諾なく、
複製、転載、転用、改変等の二次利用を固く禁じます。

